

地デジ対応10インチポータブルDVDプレーヤー

Wizz DV-PT1060

取扱説明書

© 2019 DAINICHI ELECTRONICS CO.,LTD.

目次

使用上の注意	2～3
ディスクについて	4～5
製品内容	6
各部の名称	6～7

準備する

リモコンを使う	7
リモコンの機能一覧	8
ACアダプターを使う	9
車載用シガーソケットアダプターを使う	9
充電する	9
液晶パネルの回転	10
車載用バッグを使う	10

DVDを見る

設定画面にて各パラメータの設定を行います	11
一般設定、オーディオ、音声設定、映像設定、環境設定	11
DVDを再生する	12
基本操作	12
ディスクメッセージ	12

テレビを見る

テレビを見る前に	13
miniB-CASカードを入れる	14
アンテナを準備する	14
初期設定をする	15
チャンネルを設定する、受信方法を設定する	16
チャンネルスキャンする、言語設定をする	17
パスワードを変更する、デバイス情報	18
初期化する	19
番組表を見る、チャンネルリストを見る	20



外部端子

イヤホンを使用する	21
テレビやモニターとつなぐ	21
USB端子を使用する	22
SD/MMC スロットを使用する	22










その他











主な仕様	23
故障かな？と思ったら	24
お手入れについて、製品の廃棄について	24
メモ	26






使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。








■ 本体、電源コードについて

	 コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 分解禁止	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 禁止	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 コンセントに挿す	火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。また、雷が鳴っているときは、本体、電源コードに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 注意	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	 禁止	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天、降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因になります。

	 禁止	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	 禁止	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 禁止	本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 禁止	電源コードを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、電源コードを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。電源コードが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、電源コードをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
	 注意	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。
	 禁止	本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光の当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
	 禁止	走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等を行わないでください。

 注意	 禁止	<p>通電中の本機や電源コードに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。</p>
	 禁止	<p>本機や電源コードを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。</p>
	 禁止	<p>本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。</p>
	 分解禁止	<p>分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。</p>

■ 内蔵バッテリーについて

 注意	
 禁止	<p>本体内部には、バッテリーが内蔵されています。バッテリーは、高温環境に弱いので、炎天下の車内等の高い温度環境で放置すると故障や不具合の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>本体内部には、バッテリーが内蔵されています。また防水加工もされておられません。分解や水等の液体を入れる等は危険ですので行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。</p>
 注意	<p>ACアダプターを製品に接続したままの状態で使用しないでください。 常にACアダプターを製品に接続したままの状態や断続的にACを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります。リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーの長時間に連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の期限がありますので、業務用途やACアダプターを接続したままで、ご使用する場合は予め弊社サポートセンターまでご相談ください。</p>
 注意	<p>バッテリー残量が空の状態でご保管しないでください。 リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーを、長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態でご保管すると、バッテリーからの自然放電が続くことによる過放電状態となる恐れがあります。約3月間隔で充電する事をお奨めします。</p>
 注意	<p>過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。 バッテリーは過充電や過放電により劣化するものとなり、通常は、制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、過充電や過放電が長期にわたって繰り返されることにより、劣化が促進されます。 劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど、性能が低下しバッテリーとして機能しなくなる場合があります。また劣化などにより状態が不安定になったバッテリーは、内部の電解液が気化しバッテリーパックの膨張を引き起こす場合があります。</p>
 注意	<p>本体・バッテリー・ACアダプターに発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した場合。 使用中（充電中を含む）であれば、ACアダプターを家庭用交流100Vコンセントから抜いて本体の電源をオフにしてください。直ちに使用中止して、弊社サポートセンターにご連絡ください。</p>

■ バッテリーが膨張してしまった製品の取り扱いについて。

バッテリーパックの膨張により体積が増えてしまい製品を圧迫破損させてしまう場合があります。また、膨張によりバッテリーパックが破損すると可燃性の気体が吹き出し、引火や爆発の危険があります。

- ・ご使用の製品にバッテリーパックの膨張が確認されたらACアダプターなどの電源を取り外し、製品の電源スイッチをオフにし、すぐにご使用を中止してください。
- ・製品からバッテリーパックを取り外さないでください。
- ・直射日光や熱器具などの高温に近づけず、常温で保管してください。
- ・火気に近づけないでください。
- ・バッテリーパックのアルミ包装を傷つける可能性があるものを近づけないでください。
- ・製品をビニール袋に入れて袋の口をしぼる等、できるだけ製品が外気に触れないようにしてください。
- ・処分する場合は、小型家電リサイクル法により、各自治体によって取扱が異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ディスクについて

●再生できるディスクについて

ディスクの種類

- 市販/レンタルディスク
- 記録ディスク
- DVD-VIDEO
- DVD-R/-RW(ファイナライズ済ディスク)
- DVD+R/+RW(ファイナライズ済ディスク)
- ビデオCD/音楽用CD
- CD-R/-RW

●CD/DVDIについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠のMP3音声トラック
- JPEG画像ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- DVD-VIDEO
- DVD-VR
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM^{*}に対応しています。

- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

^{*}CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-rayディスク
- AVCHD記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- ゼロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW+DVD-R/-RW+DVD+R/+RWIは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDIには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

●DVD・ビデオCD再生時の操作について

DVD・ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

●リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



●ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

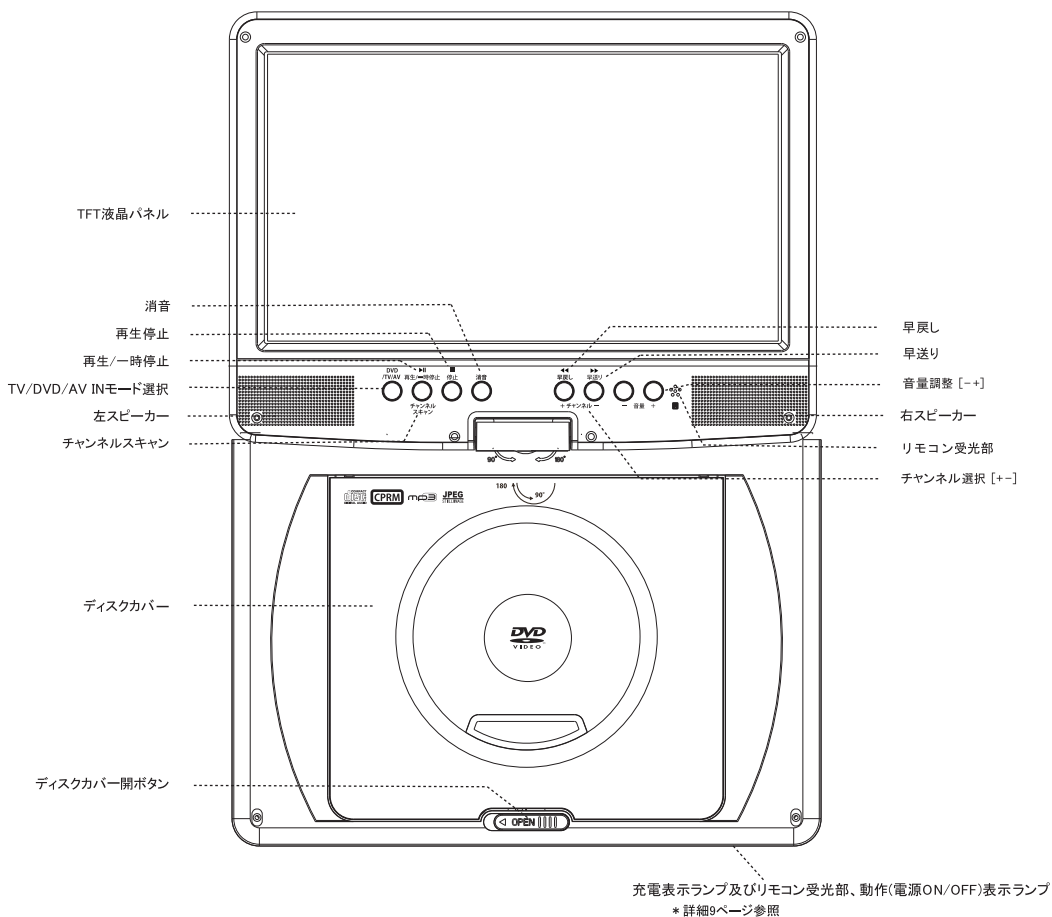


製品内容

- ・ DVDプレーヤー本体
- ・ AC電源アダプター
- ・ AVケーブル
- ・ 地上デジタル／ワンセグ用ロッドアンテナ
- ・ 室内アンテナ変換ケーブル
- ・ 地上デジタル専用mini B-CASカード
- ・ リモコン（試供品コイン電池“CR2025”内蔵）
- ・ 車載用バッグ
- ・ シガーソケットアダプター
- ・ イヤホン
- ・ 取扱説明書／保証書（本書）

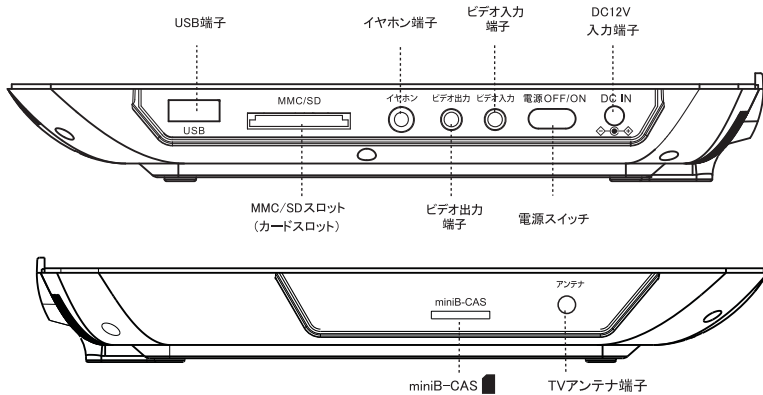
各部の名称

●液晶部、操作部



各部の名称

●側面



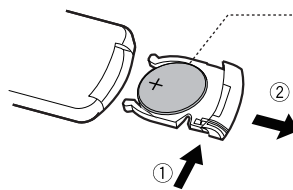
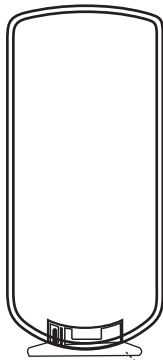
* 本紙記載の内容にしたがい、正しく接続を行って下さい。

準備する

リモコンを使う

ボタン電池の交換方法

下図のように、①を押したまま、②を引いて、電池トレーを引き出し、ボタン電池の「+」面を上向き、トレーの凹みにきちんと置いてから閉めます。



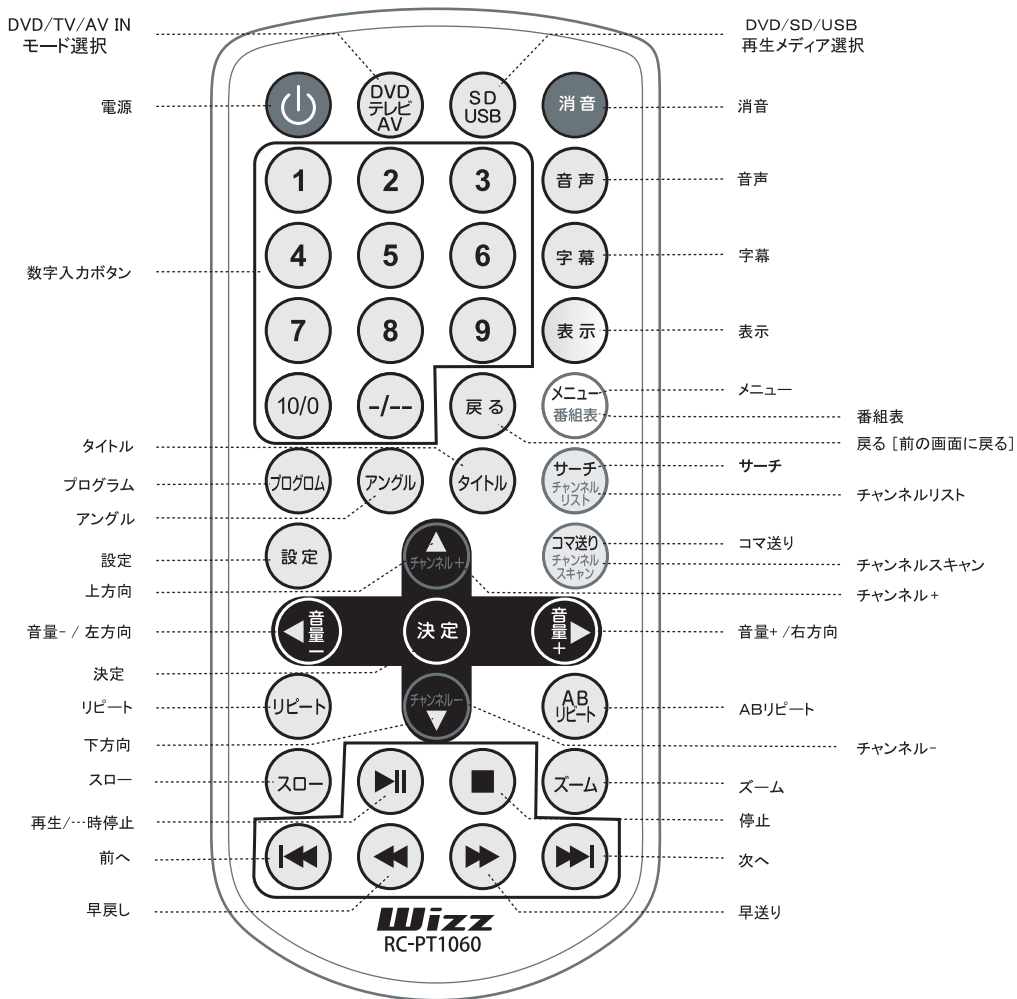
使用するコイン電池は「CR2025」タイプです。
+極、-極の方向を間違いないように収納します。

購入時使い始めるときは、フィルムを引き抜いてください。

■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- ・本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。
- ・電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理しないでください。また他の機器には使用しないでください。
- ・本リモコンの電池はリチウムコイン電池を使用しています。
コイン電池はお子様が悪戯したりする危険性がありますので、電池交換時等の取扱いにご注意下さい。

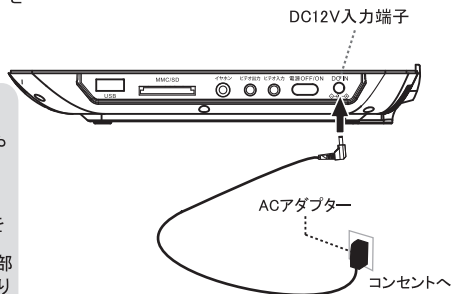
リモコンの機能一覧



* 各モード選択時に、使用できるボタンが異なります。

ACアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. ACアダプターをコンセントに差し込みます。

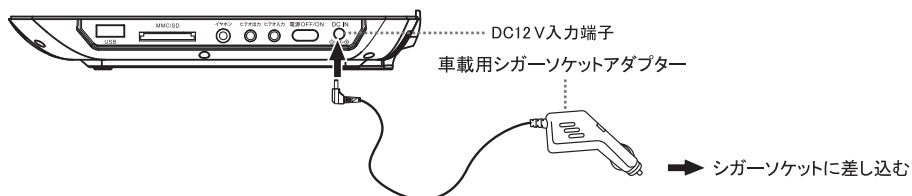


■ご注意ください

- 規格以外のACアダプターを使用された場合、故障や破損の原因となりますので使用しないでください。
- 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビの電源を切ってから行ってください。
- 端子は奥までしっかり差し込んでください。また端子部に余分な力を加えると、端子部が破損することがありますので扱いにご注意下さい。

車載用シガーソケットアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子に車載用シガーソケットアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. シガーソケットアダプターを車のシガーソケットに差し込みます。



■ご注意ください

- シガーソケットアダプターは12V車専用です。12V以外のシガーソケットには使用しないでください。
- 本製品を運転中に操作しないでください。事故の原因となります。
- 車内に本体やアダプターを放置しないでください。特に高温になると本体が変形したり、故障の原因となります。

充電する

1. 本体DC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

充電中 … チャージランプ赤色点灯

電源ON … パワーランプ緑色点灯

充電完了 … チャージランプ緑色点灯

電源OFF … パワーランプ緑色消灯

2. 充電時間は電源OFFの状態ですら4～5時間、電源ONの状態ですら8～10時間で完了します。

※同様にシガーソケットからも充電することが出来ます。

液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り(右方向)に180度、反時計回り(左方向)に90度回転します。回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかり持って丁寧にゆっくり回転させてください。

■ご注意ください

- 液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。

※ 液晶パネルは、時計回りに180度以上、反時計回りに90度以上回転させません。無理に力を入れ回転させようとすると本体が破損し、感電やケガをするおそれがありますので、回転させる際は、丁寧にゆっくりと行ってください。

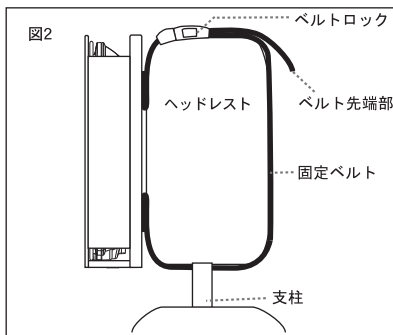
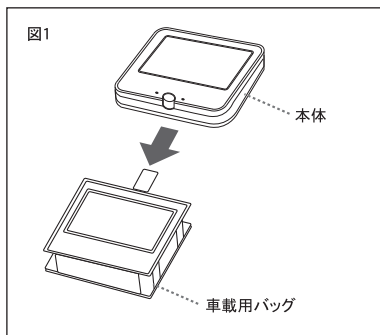
車載用バッグを使う

車載用バッグを使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

1. 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。
2. 車載用バッグに収納し、上部を閉め、本体が動かないようにしっかり固定します。(図1)
3. ヘッドレストの支柱の内側に固定ベルトをとおり、巻き付けベルトロックが「カチッ」と鳴るまで差し込んでください。ベルト先端部を引っ張り、しっかりと車載用バッグを固定します。(図2)

■ご注意ください

- 車載用バッグは、背もたれとヘッドレスト一体型シートには対応してません。また、車種によっては、構造上取り付け出来ない場合や、取り付けが出来ても安全のため適切でない場合があります。
- 車載専用DVDプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
- エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ展開時に本体が破損し、ケガなどをするおそれがあります。
- 車載用バッグは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用バッグの取付状況をご確認して頂き、異常がある場合は使用しないでください。事故やケガの原因となります。
- 運転者が走行中にテレビ観賞することは道路交通法で禁じられています。
- 運転に支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは絶対に行わないでください。交通事故やケガの原因となります。

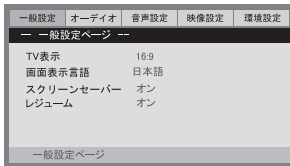


設定画面にて各パラメータの設定を行います

リモコンの「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

◀▶左右ボタンで「一般設定」「オーディオ」「音声設定」「映像設定」「環境設定」を選択し設定を行います。

●一般設定



■TV表示（画面のサイズや比率の設定を行います）

- 1.4 : 3/PS（バンスキャン）映像の左右をカットします
- 2.4 : 3/LB（レターボックス）画面の上下をカットします
- 3.16 : 9（ワイド）通常の画面設定です

■画面表示言語（設定画面の言語の設定を行います）

- 1.英語
- 2.日本語

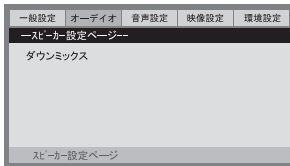
■スクリーンセーバー

- 1.オン
- 2.オフ

■レジューム（再生中断された時点から再生させる機能設定を行います）

- 1.オン
- 2.オフ

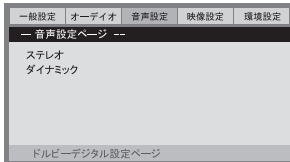
●オーディオ



■ダウンミックス（ご使用のスピーカー環境に合わせた出力方式の設定を行います。）

- 1.LT/RT
- 2.ステレオ

●音声設定



再生音声出力モードの設定をおこないます。

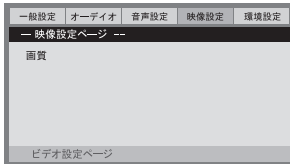
■ステレオ

- 1.ステレオ
- 2.左モノラル
- 3.右モノラル
- 4.ミックスモノラル

■ダイナミック

- 1.FULL
- 2.3/4
- 3.1/2
- 4.1/4
- 5.OFF

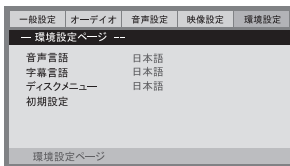
●映像設定



■画質（画質の調整を行います）

- 1.シャープネス（高/中/低）
- 2.明るさ（-16～+16）
- 3.コントラスト（-16～+16）

●環境設定



■音声言語（再生時の音声の設定を行います）

- 1.英語
- 2.日本語

■字幕設定（再生時の字幕の設定を行います）

- 1.英語
- 2.日本語

■ディスクメニュー（ディスクのメニュー画面の言語の設定を行います）

- 1.英語
- 2.日本語

■初期設定（全ての設定を工場出荷時の状態に戻ります。）リセット

■ご注意ください

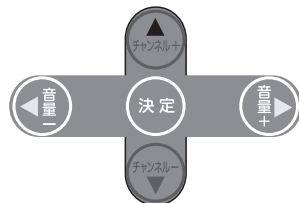
- ・各設定項目に対してみどりのカーソルがある項目が選択されている項目です。茶色が現在決定している項目です、設定項目を確定する場合は決定ボタンを押してください。
- ・初期設定については本機のシステム上重要な設定になります。DVD等の再生を停止した状態で行ってください。

DVDを再生する

●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) 本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
- 3) ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時、“カチッ”という音がしたのを確認してください。
- 4) ディスクカバーを閉じます。
 - ※ ディスク面が間違っていたり、トレイの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
 - ※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュースクリーンが再生されないものがあります。
- 5) OK(決定)ボタン、または再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。ディスクによっては自動的に再生が始まります。

画面にDVDメニューが表示された場合、本体およびリモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。



■ご注意ください

- ディスクをセットする際、ホルダー中央部に無理な力を掛けると破損する恐れがあります。
- 電源コードは、電源を切った状態で取り外してください。
- ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部の破損の原因となりますので、十分ご注意ください。
- 操作中、“○”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ご購入後、最初に使用する時はDVDローダー部に取り付けられている保護紙を取り外してください。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

□ リージョンエラー

本機が再生できる地域(リージョン)“2”と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。
リージョンコード“2”以外のディスクは再生できません。

■ご注意ください

- DVDディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- 本機は全てのディスクの再生能力に対して責任を負いません。記録条件によって再生できない場合があるため、本機の不良ではございません。再生されるディスクの説明書等をご覧ください。

テレビを見る

テレビを見る前に

●本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信する事が出来ます。
(地上アナログ放送・BS・110度CSデジタル放送を受信する事は出来ません。)
屋内での使用時は、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続(付属のアンテナ交換ケーブルを使用)して高画質のデジタル放送を、屋外では付属のロッドアンテナを使用して、地上デジタル放送やワンセグ放送のテレビ番組が楽しめます。

●地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送(13ch~62ch)の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術によりハイビジョン放送(高画質)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。
また、音声信号を効率よく圧縮しての放送が可能で、原音に近い高音質な音声を楽しめます。
(本機ではデジタル放送の一部サービスに対応していません。)

■ご注意ください

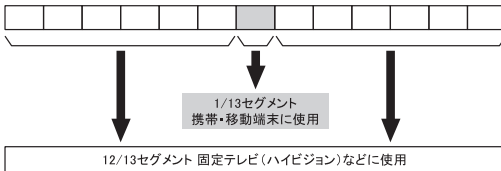
- 安定した地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続や利用方法は、機器や会社ごとに異なります。ご加入のCATV会社にお問い合わせ下さい。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。また、本機でペイ・パー・ビュー(PPV)番組を購入する事は出来ません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送には対応していません。
- 本機は緊急警報放送には対応していません。

■お知らせ

- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

●ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



- 受信状況…… 地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できる。
- 画質……… 携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
- 受信地域…… 広範囲で受信出来るようになりました。

- ワンセグ放送は、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により受信可能なエリアが拡大されました。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

■お知らせ

- ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

●miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。
miniB-CASの登録の仕方や取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。
説明書は、内容をよく確認のうえ、大切に保管してください。

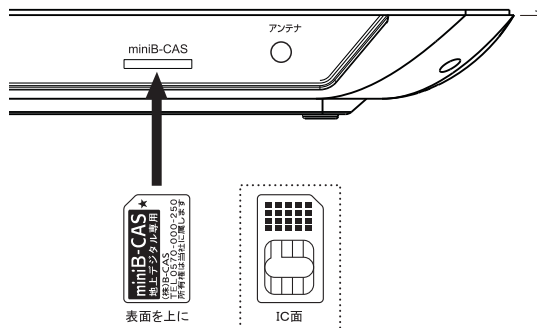
■ご注意ください

- ・ miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外を入れないで下さい。故障や破損の原因になります。
- ・ 使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないで下さい。

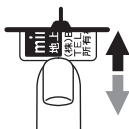
■カード破損・紛失・盗難など

- ・ miniB-CASカードのカード破損・紛失・盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムにご連絡下さい。
お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

- 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CASカードの表面を上にして「カチッ」と音がするまで奥へ差し込みます。



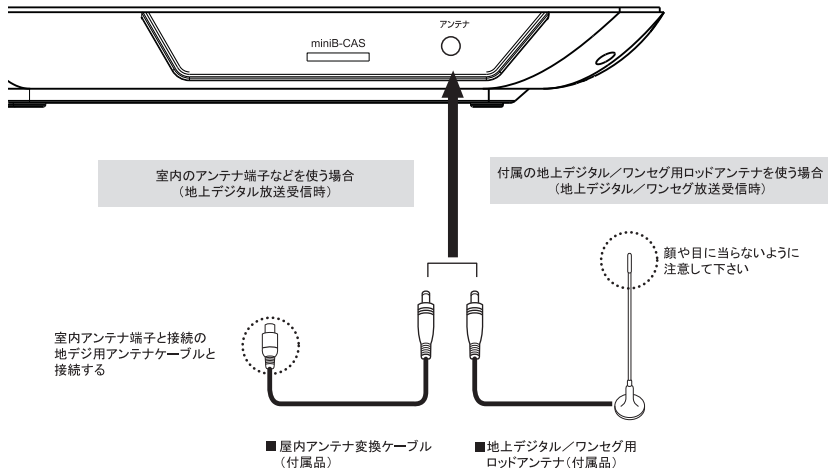
- 取り出す時は中央部を一旦押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます



●アンテナを準備する

テレビ放送を視聴するときは、B-CASカードを本機に差し込み、アンテナを以下の内容で接続します。

- ①屋内のアンテナ端子を使う場合
安定した受信のために付属の室内アンテナ変換ケーブルと市販のアンテナケーブルを接続し、アンテナ端子への接続をお勧めします。
- ②ロッドアンテナを使う場合
付属の地上デジタル／ワンセグ用ロッドアンテナをご利用下さい。



■ご注意ください

- アンテナを接続するときは、必ず本機及び接続機器の電源を切り、コンセントから抜いてください。電源プラグは全ての接続が終わってから、コンセントに接続して下さい。

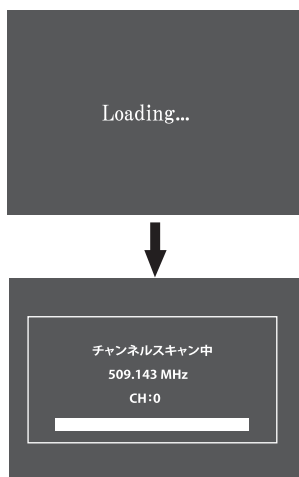
■お知らせ

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。
- 付属のロッドアンテナを使用すると、受信できない場所や受信が安定しない場所があります。
- UHFアンテナが既に設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更が必要になる場合があります。
- UHFアンテナ線は同軸ケーブルをお勧めします。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をお勧めします。アンテナの設置場所は屋外のため、痛みやすく性能が低下します。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴で伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせ下さい。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選び下さい。

初期設定をする

購入後、初めて本機を使用する場合は以下の初期設定が必要です。

●チャンネルを設定する

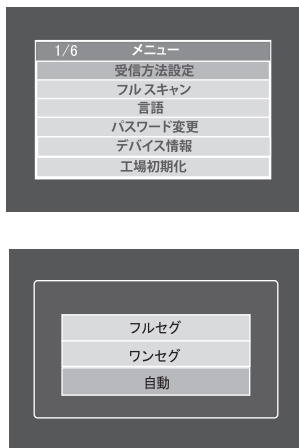


電源を入れ、本体およびリモコンの「テレビ/DVD」ボタンでテレビを選択します。「チャンネルスキャン」ボタンを押すと受信可能な放送チャンネルをチャンネルスキャンが自動で始められます。

■お知らせ

- チャンネルスキャンは見晴らしの良い受信環境の良い場所で行ってください。
- 受信環境が悪かったり、スキャン中に移動したりすると信号を受信出来ない場合があります。
- 遠隔地への移動を行ったり、受信環境の変化でスムーズに受信できない場合は再度受信環境の良い場所で「チャンネルスキャン」を行ってください。

●受信方法を設定する



“設定”ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

▼▲上下ボタンで、「受信方法設定」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

▼▲上下ボタンで「自動」「フルセグ」「ワンセグ」の中から希望の項目を選択しOK(決定)ボタンで設定します。
※受信状況によりフルセグとワンセグをスムーズに切り換えられる、「自動」設定をお奨めします。

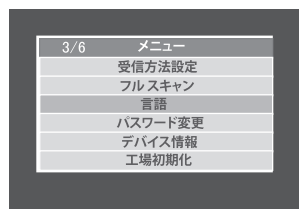
● チャンネルスキャンする



“設定”ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

▼▲上下ボタンで、「フルスキャン」を選択し
OK(決定)ボタンで設定します。

● 言語設定をする



▼▲上下ボタンで「言語」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。
「日本語」「英語」の中から▼▲上下ボタンで選択し
OK(決定)ボタンで設定します。

● パスワードを変更する



▼▲上下ボタンで「パスワード変更」を選択しOK(決定)ボタンでパスワード画面が表示されます。現在のパスワードを数字ボタンで入力します。新しいパスワードの入力欄に、数字ボタンで新しいパスワードを入力して、OK(決定)ボタンを押して設定します。新しいパスワードを再度入力して、OK(決定)ボタンでパスワードの変更が完了します。

※パスワードの初期設定は「111111」に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、再入力します。

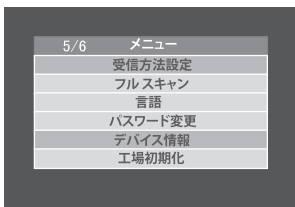


■ ご注意ください

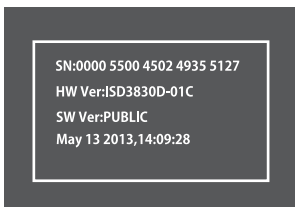
- パスワードはメモを取り、大切に保管して下さい。パスワードがわからなくなると、修理に出していただく限り、パスワードの変更や設定が行えなくなります。変更する際は十分ご注意ください。



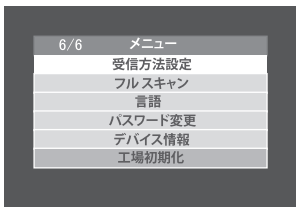
● デバイス情報



▼▲上下ボタンで「デバイス情報」を選択しOK(決定)ボタンでデバイス情報画面が表示されます。



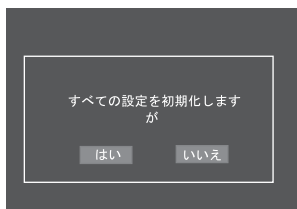
●初期化する



▼▲上下ボタンで「工場初期化」を選択しOK(決定)ボタンで設定すると初期化画面が表示されます。
パスワードを数字ボタンで入力しOK(決定)ボタンで初期化画面が表示され、「はい」を押すと初期化されます。



パスワードは18ページで設定した番号です。




●番組表を見る



番組表	
NHK総合1・東京	1/242
08/23 09:55	みんなの体操
08/23 10:00	ニュース・気象情報
08/23 10:05	おしん特別 働き盛り 介護とはなんだ
08/23 10:15	きょうの料理 薬膳はるみのお弁当12分
08/23 10:40	世界の各種グレートサミンツエキシビート
08/23 10:50	リトル・チャロ(日本語) Ep16 輝け

リモコンの「番組表」ボタンを押すと現在放送中の番組表が表示されます。

番組表は現在放送中の番組が表示されます。



みんなの体操	
08/23 09:55 ~ 08/23 10:00	
【出演】 岡本美佳, 有賀晴子, 稲垣早織	

▼▲上下ボタンで番組を選択しOK(決定)ボタンを押すと番組内容が表示されます。

「戻る」を押すと番組表に戻ります。

さらに「戻る」を押すと放送中の番組に戻ります。

●チャンネルリストを見る



フルセグ	ワンセグ	14 / 33
	3	テレ玉3
	4	日テレ1
	4	日テレ2
	5	テレビ朝日

リモコンの「チャンネルリスト」を押すと登録されている放送局のリストが表示されます。

OK(決定)ボタンで選択されたチャンネルを見ることが出来ます。

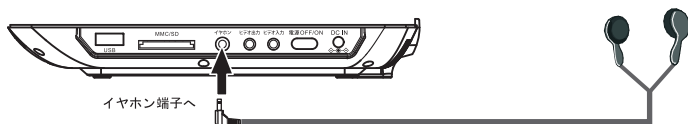
◀▶左右ボタンで受信方法が「自動」の場合は「フルセグ」「ワンセグ」への切り替えが出来ます。

外部端子

イヤホンを使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。

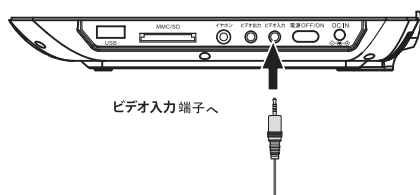


■ご注意ください

- ・お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ビデオ出力端子にAVケーブルを接続している場合は、イヤホン端子に接続後再度音量を調整し、お楽しみ下さい。

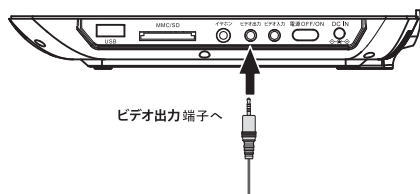
テレビやモニターとつなぐ

- 接続方法(ビデオ入力/ビデオ出力) 付属のAVケーブルを使用して テレビやモニターに音声・映像を入出力することができます。



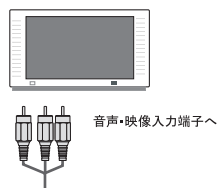
ビデオ入力

■音声・映像出力端子付きの再生機器



ビデオ出力

■音声・映像入力端子付きのテレビやモニター



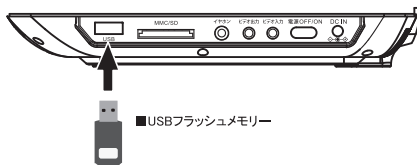
■ご注意ください

- ・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・テレビに接続して本製品を使用する場合、必ず液晶パネルが開いた状態で使用して下さい。
- ・市販のケーブルは端子配置が異なる場合があります。追加でケーブルを購入する場合等販売店や弊社サポートセンターにお問い合わせください。

USB端子を使用する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像を再生することができます。

●接続方法



■USBフラッシュメモリー

■USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える

- 1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
- 2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、USBに切り替えます。

■USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

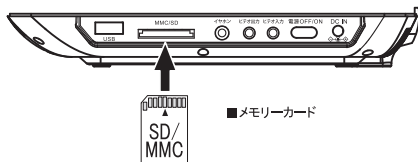
●JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

MMC/SDスロットを使用する

MMC/SDスロットを使用して、MMC/SD（以下、メモリーカード）から音声・画像を再生することができます。

●接続方法



■メモリーカード

■メモリーカードからの再生に切り替える

- 1.メモリーカードを差し込みます。
- 2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、カードに切り替えます。

■メモリーカードを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからメモリーカードを取り外します。

●JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ご注意ください

- ・USBフラッシュメモリー、メモリーカードにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているUSB端子は、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・USBフラッシュメモリーやメモリーカードによっては対応しないものもあります。

その他

主な仕様

商 品 名	地デジ対応10インチポータブルDVDプレーヤー
パネルサイズ	10インチワイド
液晶解像度	1024×600ピクセル
受信チャンネル	地上デジタル放送(ワンセグ放送対応) (VHF1~12ch、UHF13~62ch、CATV C13~C62ch)
映像信号方式	NTSC
アンテナ入力	1系統(外部アンテナ接続用)
A V 小 型 出 力	1系統
A V 小 型 入 力	1系統
ヘッドフォン出力	1系統
メディアスロット	1スロット(SD/MMC)
U S B 端 子	1スロット
再生可能データ	MP3/JPEGファイル
電源定格	DC12V/1.5A AC100V 50/60Hz
最大消費電力	15W
バッテリー	リチウムイオン
連続再生時間 ^{※1}	DVD再生4.5時間、TV再生時3.5時間
充電時間 ^{※1}	約4~5時間
カーアダプター	DC12V ※24V車不可
外形寸法	256(W)×190(H)×35(D)mm
本体質量	約1.0Kg(バッテリー含む)
リモコン	専用リモコン「RC-PT1060」使用

※1 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。
※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を

このような事はありませんか？	<ul style="list-style-type: none">・電源コードや電源プラグが異常に熱い。・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。・その他の異常・故障がある。	ご使用を中止	<ul style="list-style-type: none">・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
----------------	---	--------	--

故障かな？と思ったら

画面が暗い	<ul style="list-style-type: none">▪ DVD状態なら、設定ボタンを押して、「画面設定」の「明るさ」を調整してください。▪ TV状態にはDVDへ切替して確認して下さい。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">▪ 電源コードの接続を確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">▪ ディスクが中に入っているか確認してください。▪ 機器が適切に接続されていることを確認してください。▪ ディスクの汚れ、傷を確認してください。▪ テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。▪ パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ)▪ ディスクのリージョンコードが「2」か確認してください。▪ 結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。▪ 本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間を置いてからご使用ください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none">▪ ディスクが汚れたり、傷ついてないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。▪ 本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	<ul style="list-style-type: none">▪ 機器が適切に接続されているか確認してください。▪ 近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面に「不明なディスク」と表示される	<ul style="list-style-type: none">▪ 本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。▪ パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ)▪ ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">▪ 本機やテレビのボリューム(VOL)、消音機能を確認してください。▪ 適切に接続されているか確認してください。▪ 一時停止、巻き戻し/早送り、スロー、コマ送り実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">▪ 電池の向きを確認してください。▪ 電池が消耗している場合は交換してください。▪ 本機とリモコンの間に障害物がある場合は、取り除いてください。


お手入れについて

- **レンズのクリーニング**
レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合は市販のクリーニングをご使用ください。故障の原因となります。
- **結露**
結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。
- **本体のお手入れ方法**
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等 各自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

リチウムイオンについてご注意

 **AC アダプターを製品に接続したままの状態で使用しないでください。**

常時 AC アダプターを製品に接続したままの状態ではバッテリーの満充電が繰り返され、過充電の状態となる恐れがあります。

リチウムイオンバッテリーを内蔵したプレーヤーの長時間にわたる連続使用は、過負荷による事故の原因となり、**火災や感電の危険があります**ので、業務用途や AC アダプターを接続したままでご使用する場合はあらかじめ弊社サポートセンター（045-633-1136）までご相談ください。

 **バッテリー残量が空の状態でご保管しないでください。**

リチウムイオンバッテリーを長時間にわたって使用しないなどバッテリー残量が空の状態でご保管すると、バッテリーからの自然放電が続くこととなり過放電状態となる恐れがあります。

長期間ご使用にならない場合でも3か月に一度は充電することをお奨めします。

 **過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。**

通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、それが長時間にわたって繰り返されることにより劣化が促進されてしまいます。

劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど性能が低下してしまい、時にはバッテリーとして機能しなくなる場合もあります。また、劣化などにより状態が不安定になったバッテリーは内部の電解液が気化しバッテリーパックの膨張を引き起こす原因となる場合があります。

◆ バッテリーが膨張してしまった製品の取り扱いについて。

バッテリーパックが膨張すると体積が増え製品を圧迫したり破損させてしまう場合があります。

また、膨張によりバッテリーパックが破損すると可燃性の気体が噴き出したり、**引火や爆発の危険があります**ので取扱には十分ご注意ください。

- ・ ご使用の製品にバッテリーパックの膨張が確認されたら、AC アダプターなどの電源を外し電源スイッチを オフ にしてすぐにご使用を中止してください。
- ・ 危険な場合がありますので製品からバッテリーパックを取り外さないでください。
- ・ 直射日光や熱器具などで温度が高くなるところや火気には近づけないでください。
- ・ バッテリーパックのアルミ包装を傷つけたり、その可能性があるものを近づけないでください。
- ・ 一次的な保管は製品をビニール袋などに入れ口を密閉し出来るだけ製品が外気に触れないようにしてください。
- ・ 処分する場合は小型家電リサイクル法により、各自治体によって取り扱いが異なります。お住いの自治体の指示に従ってください。